

—令和 5 年度統計法施行状況報告— 21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）について

厚生労働省 政策統括官
（統計・情報システム管理、労使関係担当）

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

厚生労働省所管の縦断調査の概要

21世紀出生児縦断調査

平成13年出生児

開始年

平成13(2001)年

目的

<児童の健全育成>
少子化対策、児童の健全育成等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得る。

調査対象

平成13年1月及び7月
出生児（月齢6か月）

主な調査事項

就業（母親の就業状況）、
出産（母親の出産1年
前・出産半年後の就業状
況）、子育て（子育て費
用、子育ての負担感）等

第16回～文科省と共管
記載内容は共管前のもの

平成22年出生児

開始年

平成22(2010)年

目的

<世代間比較>
平成13年出生児との比較
対照等を行い、少子化対
策、児童の健全育成等厚
生労働行政施策の企画立
案、実施等のための基礎
資料を得る。

調査対象

平成22年5月
出生児（月齢6か月）

主な調査事項

就業（母親の就業状況）、
出産（母親の出産1年
前・出産半年後の就業状
況）、子育て（子育て費
用、子育ての負担感）、
保育サービスの利用状況
等

21世紀成年者縦断調査

平成14年成年者

開始年

平成14(2002)年

目的

<少子化要因分析>
少子化対策等厚生労働
行政施策の企画立案、
実施等のための基礎資
料を得る。

第14回で終了

調査対象

平成14年10月末時点
で20～34歳の全国の
男女及びその配偶者

主な調査事項

就業（就業の状況、結
婚・出産前後の就業の状
況）、結婚（結婚の状況、
結婚意欲）、出産（出生
の状況、男女の出生意
欲）、子育て（仕事と子
育ての両立支援制度の利
用状況）等

平成24年成年者

開始年

平成24(2012)年

目的

<世代間比較>
少子化対策等厚生労働
行政施策の企画立案、
実施等のための基礎資
料を得る。

調査対象

平成24年10月末時点
で20～29歳の全国の
男女及びその配偶者

主な調査事項

就業（就業の状況、結
婚・出産前後の就業の状
況）、結婚（結婚の状況、
結婚意欲）、出産（出生
の状況、男女の出生意
欲）、子育て（仕事と子
育ての両立支援制度の利
用状況）等

中高年者縦断調査

開始年

平成17(2005)年

目的

**<高齢者の健康保持と
就業等社会活動の確保>**
高齢者対策等厚生労働
行政施策の企画立案、
実施等のための基礎資
料を得る。

調査対象

平成17年10月末時点
で50～59歳の全国の
男女

主な調査事項

就業（就業の状況、仕事
への満足感）、介護（介
護の状況、介護時間）等

各縦断調査の客体数や回収率等（21世紀出生児縦断調査）

◆21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）

調査実施年・調査回	公表日	対象者の年齢・学年	調査客体数	回収客体数	回収率	残存率
(H13年) 第1回	H14. 10. 21	月齢6か月	53,575	47,015	87.8%	－
(H14年) 第2回	H15. 12. 12	1歳6か月	46,966	43,925	93.5%	93.4%
(H15年) 第3回	H16. 12. 22	2歳6か月	46,897	42,812	91.3%	91.1%
(H16年) 第4回	H17. 12. 6	3歳6か月	44,837	41,559	92.7%	88.4%
(H17年) 第5回	H18. 11. 29	4歳6か月	43,559	39,817	91.4%	84.7%
(H18年) 第6回	H19. 11. 21	5歳6か月	42,187	38,537	91.3%	82.0%
(H20年) 第7回	H21. 11. 30	小学1年	40,598	36,785	90.6%	78.2%
(H21年) 第8回	H22. 7. 14	小学2年	39,261	36,136	92.0%	76.9%
(H22年) 第9回	H23. 10. 20	小学3年	37,932	35,264	93.0%	75.0%
(H23年) 第10回	H24. 9. 25	小学4年	36,989	34,124	92.3%	72.6%
(H24年) 第11回	H26. 3. 27	小学5年	36,059	32,913	91.3%	70.0%
(H25年) 第12回	H26. 12. 11	小学6年	35,038	32,065	91.5%	68.2%
(H26年) 第13回	H27. 12. 15	中学1年	33,904	30,331	89.5%	64.5%
(H27年) 第14回	H28. 10. 26	中学2年	32,843	29,506	89.8%	62.8%
(H28年) 第15回	H29. 8. 30	中学3年	31,408	28,810	91.7%	61.3%
(H29年) 第16回	H30. 9. 28	高校1年等	30,297	26,900	88.8%	57.2%
(H30年) 第17回	R1. 8. 30	高校2年等	30,780	24,886	80.9%	52.9%
(R1年) 第18回	R2. 8. 28	高校3年等	30,694	24,654	80.3%	52.4%
(R2年) 第19回	R3. 8. 10	大学1年等	30,491	25,504	83.6%	54.2%
(R3年) 第20回	R4. 9. 28	大学2年等	30,278	24,335	80.4%	51.8%
(R4年) 第21回	R5. 10. 13	大学3年等	29,891	22,872	76.5%	48.6%

往復郵送方式

文部科学省

オンライン

※残存率は第1回収客体に対する回収率

◆21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）

調査実施年・調査回	公表日	対象者の年齢・学年	調査客体数	回収客体数	回収率	残存率
(H22年) 第1回	H24. 12. 13	月齢6か月	43,767	38,554	88.1%	－
(H23年) 第2回	H26. 3. 27	1歳6か月	38,523	33,356	86.6%	86.5%
(H24年) 第3回	H27. 1. 22	2歳6か月	37,582	32,380	86.2%	84.0%
(H25年) 第4回	H27. 12. 15	3歳6か月	34,563	29,582	85.6%	76.7%
(H26年) 第5回	H28. 10. 26	4歳6か月	32,830	28,161	85.8%	73.0%
(H27年) 第6回	H29. 8. 30	5歳6か月	30,705	27,785	90.5%	72.1%
(H29年) 第7回	H30. 5. 30	小学1年	29,434	25,397	86.3%	65.9%
(H30年) 第8回	R1. 5. 15	小学2年	28,511	24,441	85.7%	63.4%
(R元年) 第9回	R2. 5. 13	小学3年	27,397	24,204	88.3%	62.8%
(R2年) 第10回	R3. 5. 19	小学4年	26,141	24,041	92.0%	62.4%
(R3年) 第11回	R4. 5. 18	小学5年	25,362	23,216	91.5%	60.2%
(R4年) 第12回	R5. 5. 17	小学6年	24,790	22,278	89.9%	57.8%
(R5年) 第13回	R6. 5. 21	中学1年	24,755	20,830	84.1%	54.0%

往復郵送方式

オンライン

※残存率は第1回収客体に対する回収率

各縦断調査の客体数や回収率等（21世紀成年者縦断調査）

◆21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）

調査実施年・調査回	公表日	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率	残存率	
(H13年) 第1回	H15. 12. 18	20～34歳	33,689	27,893	82.8%	－	調査員調査
(H14年) 第2回	H17. 3. 11	21～35歳	29,683	24,393	82.2%	87.5%	
(H15年) 第3回	H18. 3. 8	22～36歳	25,330	21,563	85.1%	77.3%	
(H16年) 第4回	H19. 3. 7	23～37歳	22,425	19,716	87.9%	70.7%	
(H17年) 第5回	H20. 3. 19	24～38歳	20,204	17,990	89.0%	64.5%	
(H18年) 第6回	H21. 3. 11	25～39歳	18,281	16,444	90.0%	59.0%	
(H20年) 第7回	H22. 3. 17	26～40歳	16,793	15,337	91.3%	55.0%	
(H21年) 第8回	H23. 3. 16	27～41歳	15,870	14,659	92.4%	52.6%	
(H22年) 第9回	H24. 3. 21	28～42歳	15,055	12,876	85.5%	46.2%	往復郵送方式
(H23年) 第10回	H24. 12. 19	29～43歳	14,644	12,062	82.4%	43.2%	
(H24年) 第11回	H26. 3. 6	30～44歳	13,293	10,906	82.0%	39.1%	
(H25年) 第12回	H27. 7. 15	31～45歳	12,280	10,551	85.9%	37.8%	
(H26年) 第13回	H27. 12. 9	32～46歳	11,363	9,618	84.6%	34.5%	
(H27年) 第14回	H28. 11. 22	33～47歳	10,658	9,529	89.4%	34.2%	

※各客体数は第1回調査における男性票及び女性票の対象者

※残存率は第1回回収客体に対する回収率

第14回で終了

◆21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）

調査実施年・調査回	公表日	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率	残存率	
(H24年) 第1回	H26. 3. 6	20～29歳	38,879	31,122	80.0%		調査員調査
(H25年) 第2回	H27. 7. 15	21～30歳	33,835	18,979	56.1%	61.0%	往復郵送方式
(H26年) 第3回	H27. 12. 9	22～31歳	30,741	15,326	49.9%	49.2%	
(H27年) 第4回	H28. 11. 22	23～32歳	20,082	14,300	71.2%	45.9%	
(H28年) 第5回	H29. 11. 21	24～33歳	16,731	11,879	71.0%	38.2%	
(H29年) 第6回	H30. 11. 28	25～34歳	14,600	10,230	70.1%	32.9%	
(H30年) 第7回	R1. 11. 27	26～35歳	12,353	9,456	76.5%	30.4%	
(R元年) 第8回	R2. 11. 25	27～36歳	10,907	8,587	78.7%	27.6%	
(R2年) 第9回	R3. 11. 24	28～37歳	9,889	8,655	87.5%	27.8%	
(R3年) 第10回	R4. 11. 22	29～38歳	9,251	7,713	83.4%	24.8%	
(R4年) 第11回	R5. 11. 20	30～39歳	8,779	7,436	84.7%	23.9%	
							オンライン

※各客体数は第1回調査における男性票及び女性票の対象者

※残存率は第1回回収客体に対する回収率

(R6)第13回で終了

各縦断調査の客体数や回収率等（中高年者縦断調査）

◆中高年者縦断調査

調査実施年 ・調査回	公表日	対象者の 年齢	調査客体数	回収客体数	回収率	残存率	
(H17年) 第1回	H18. 12. 19	50～59歳	40,877	34,240	83.8%	-	調査員調査
(H18年) 第2回	H19. 12. 26	51～60歳	35,007	32,285	92.2%	94.3%	
(H19年) 第3回	H20. 12. 10	52～61歳	32,195	30,730	95.4%	89.7%	
(H20年) 第4回	H21. 12. 15	53～62歳	30,773	29,605	96.2%	86.5%	
(H21年) 第5回	H22. 12. 21	54～63歳	29,548	28,736	97.3%	83.9%	
(H22年) 第6回	H24. 2. 22	55～64歳	28,554	26,220	91.8%	76.6%	往復郵送方式
(H23年) 第7回	H25. 3. 14	56～65歳	28,137	25,321	90.0%	74.0%	
(H24年) 第8回	H26. 2. 19	57～66歳	26,428	24,026	90.9%	70.2%	
(H25年) 第9回	H27. 2. 12	58～67歳	25,261	23,722	93.9%	69.3%	
(H26年) 第10回	H27. 12. 16	59～68歳	24,231	22,748	93.9%	66.4%	
(H27年) 第11回	H28. 12. 16	60～69歳	23,485	22,595	96.2%	66.0%	
(H28年) 第12回	H29. 11. 28	61～70歳	22,845	21,916	95.9%	64.0%	
(H29年) 第13回	H30. 11. 28	62～71歳	22,253	21,168	95.1%	61.8%	
(H30年) 第14回	R1. 11. 27	63～72歳	21,587	20,677	95.8%	60.4%	
(R元年) 第15回	R2. 11. 25	64～73歳	20,903	19,931	95.3%	58.2%	
(R2年) 第16回	R3. 11. 24	65～74歳	20,264	19,644	96.9%	57.4%	
(R3年) 第17回	R4. 11. 24	66～75歳	19,765	18,999	96.1%	55.5%	
(R4年) 第18回	R5. 11. 15	67～76歳	19,241	18,469	96.0%	53.9%	

※残存率は第1回回収客体に対する回収率

縦断調査の改善に関するワーキンググループについて

- ・各縦断調査はいずれも10回以上継続して実施しており、調査開始当初の客体が大きく減少している調査があること、調査対象者の年齢や環境に考慮した調査項目に変更するかなど、今後のあり方について検討する必要が生じている。
- ・「厚生労働統計の整備に関する検討会」の下に「縦断調査の改善に関するワーキンググループ」を設置、検討し、令和5年度、各縦断調査の今後の方向性について「中間まとめ」をまとめた。

実施回	時期	検討内容
第1回	令和5年6月1日	・ 各縦断調査の今後の方向性案 ・ 本WGの今後の進め方案
第2回	令和5年10月25日	・ 21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の実施主体変更 ・ 21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の終了（中止）について ・ 中高年者縦断調査の調査項目案
第3回	令和6年2月9日	・ 中高年者縦断調査の調査項目案 ・ 中間まとめ案（各縦断調査の今後の方向性、中高年者縦断調査の調査項目） ・ 特別報告の内容、研究者との連携方法
第4回	令和6年6月24日	・ 特別報告の内容、研究者との連携方法 ・ 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）の客体を対象とした新たな調査について
第5回	令和6年度秋頃	・ 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）の客体を対象とした新たな調査について ・ 新たな集団の対象者、調査内容
第6回	令和6年度冬頃	・ 新たな集団の対象者、調査内容 ・ 報告書案

縦断調査の改善に関するワーキンググループ「中間まとめ」（概要）

検討テーマ	課題	取りまとめ結果
平成22年出生児縦断調査の実施主体変更について	「公的統計の整備に関する基本的な計画（令和5年3月28日閣議決定）」において、平成22年出生児縦断調査の調査対象者の進学等を勘案し、関係府省との調整を含め、施策二ーズに即した今後の調査の方向性や調査内容について検討し、令和5年度末までに結論を得ることとなっている。	平成22年出生児縦断調査は、平成13年出生児縦断調査との世代間の比較を行うことを目的の一つとしていることから、平成13年出生児縦断調査と同様、高校1年等を対象とする令和8年（第16回）調査から文部科学省を実施主体とする共管調査に変更することが適当である。
平成24年成年者縦断調査の終了（中止）及び今後の方向性について	平成24年成年者縦断調査は、平成14年成年者縦断調査との世代間比較が目的であるが、回収客体の減少が激しく、終了（中止）の時期について客体数の減少状況を踏まえて判断することを検討する。	平成24年成年者縦断調査は、回収客体数の減少を踏まえ、令和6年（第13回）調査を最後に終了（中止）するのが適当である。 なお、平成13年出生児縦断調査を令和9年（第26回）から厚生労働省を実施主体とする成年者向け調査として実施することが適当である。
中高年者縦断調査の見直しについて	既に全ての調査対象者が65歳を超え、今後、多くの者が後期高齢者となることから、調査対象者の年齢に即した調査項目に見直す。	中高年者縦断調査では、令和7年（第21回）調査から全ての対象者が70歳以上となることから、介護を受ける側の状況に関する調査項目を追加する、負担なく回答できるよう調査項目数を削減するといった見直しは適当である。

(参考) 今後の方向性・スケジュール案

